

妹背牛中学校吹奏楽部



妹背牛中学校の吹奏楽部は2年生3人、1年生3人の計6人です。同校単独で活動している唯一の部活動で、少人数ながら、一人ひとりが複数の楽器を演奏できることが持ち味。仲の良いメンバーは夏休みも学校の音楽室に集まり、明るい音色を響かせました。



部長 梅田 理瑚 さん

猛暑の影響で、例年と比べて2日間延長された妹背牛小・中学校の夏休み。生徒の姿を写真に収めるため、7月30日午前の妹背牛中学校に入ると、管・打楽器の軽快な演奏が聞こえてきました。
音楽室から流れてくるリズムミカルな曲の正体は、バンドグループ「Mrs・GREEN APPLE」の人気曲「インフェルノ」。吹奏楽部のメンバーが「ノリノリで聞いてほしい」と、口をそろえるお気に入りの曲です。
8月4日に開催された「もせうし夏祭り」のステージで披露すると、聴衆の中には体を揺らしたり、手拍子で楽しむ人もおり、会場は盛り上がりを見せました。



夏 休みの風物詩とい

え、ラジオ体操。7月25日、

8月3日まで、

妹背牛町総合体

育館前で「いき

いきラジオ体操」が行われました。

子どもたちは夏休み中も規則正しい生活を送ろうと、早起きをして友だちや家族と一緒にラジオ体操に参加。元気に体を動かした後、首から提げたカードに好きなキャラクターのシールを貼りました。



いきいきラジオ体操



規 則正しい生活には、

健康的な生活が欠かせません。

7月28日の世

代間交流事業で

は、子どもと高

齢者が収穫したばかりの新鮮な野菜

を使い、この季節にぴったりの「夏

野菜そうめん」を作りました。

社会福祉協議会と教育委員会の合

同企画。町内の交流農園「すみっこ

ファーム」で、ボランティアスタッフが

7人が子ども6人にトマトやキュウリ

などの収穫方法を教えました。

続いて保健センターに移動し、調

理体験。野菜の切り方などを教えて

もらった子どもたちは、色とりどりの

野菜を盛りつけたそうめんの出来

栄えに満足した表情を浮かべ、おい

しそうに味わいました。



世代間交流事業

親 元を離れて自然に親しむ「ぼくたちわたしたち

ち体験隊」(愛称・ぼくわた)が8月6日〜8日までの2泊3日の日程で行われました。小学生13人、中学生5人の計18人が深川市内のまあぶオートキャンプ場に宿泊しながら、集団生活の中で自立心や協調性を養いました。

初日は、子どもたちが協力してテントを組み立てた後、各班に分かれて夕食の準備を開始。自分たちで作ったカレーライスに舌鼓を打ちながら、楽しい食事の時間を過ごしました。

2日目は、工作体験。キャンプ場近くのネイパル深川に移動した子どもたちは、木の枝や松ぼっくりを使った表札、カッターで棒を削った「エコマイ箸」を作り、木のぬくもりに触れました。

ぼくたち わたしたち 体験隊



水

泳教室「のびのびスイミング」が7月30日～8月1日まで、深川市温水プール「ア・エール」で開かれ、妹背牛小学校の1～6年生30人が泳ぎの練習を楽しみました。泳力の向上や水に親しむことが目的。子どもたちは指導員に教えてもらいながら、プールサイドでバタ足の練習をしたり、ビート板を使って泳ぐ感覚を養いました。



ビート板を使っ



のびのびスイミング



のびのびスイミング

勉

強も、夏休み中の子どもたちにとって大切な時間です。子どもたちに学習の機会を提供する「もせっこ寺子屋」が8月1日、わかち愛もせうしひろばで開かれ、中学生と大人が勉強に励みました。



もせっこ寺子屋

真剣な表情で机に向かう中学1、2年生の女子生徒2人は、数学「文字と式」のプリントや夏休みの宿題に取り組みました。

分からない問題は、元教職員に数式を教してもらいながら、計算問題に集中。休憩時間に間違い探しクイズでリラックスしていた、女子生徒たちは「家にいる時より勉強がはかどります」と話しました。

文化を継承する取り組みも、夏休み中の子どもたちが活躍する場面の一つです。

妹背牛に古くから伝わる獅子舞は、町指定の無形・有形文化財。子ども獅子舞には小学生8人が参加しています。

7月31日、子どもたちは保存会のメンバーに教えてもらいながら、刀を振って獅子をこらしめる天狗の動きを何度も練習し、踊りの完成度を高めました。

一方、町の祭事を盛り上げる「こがね太鼓」には、大人に混ざって小学4年生の女の子2人が迫力ある太鼓演奏に花を添えています。

2人は「リズムに乗って、上手に叩けたときが気持ち良いです」と、練習を楽しんでいます。

獅子舞



こがね太鼓

